



# <学校卒業後では遅い事！>

=学童期のうちに身に付けたいこと！=

**重要！**  
一読してください。

最近、放デイに対して卒業後の生活と就労(仕事)に関して、知識と準備をして欲しいという活動(情報提供と依頼)が増えています。**就労は「技術力」より、やっぱり「生活力」が重要とのことです！**

A型B型事業所は、それなりの作業力は求められます。

具体的な成人の部での  
問題点と課題点

成人になるにあたり、最低限度の必要かつ基本事項！ と言っても過言ではない項目との事！  
(移行支援、なかぼつ事業所、グループホーム、A型、B型事業所からの話より)

- 身だしなみ ●言葉使い ●報連相 ●買い物 ●言葉使い ●ルールとマナー ●整理整頓
- 休まない ●協調性と同調性 ●公共手段の使い方 ●各カードへのチャージ ●困った時の対処法
- 必要内のコミュニケーション ●状況にあった挨拶と返事 ●メモを取る ●休日の過ごし方
- ◎ATMの使い方 ◎お金通帳の管理 ◎通院に関して

※※親・保護者が自分で出来ることをやらせているか！

親に何かがあった時に「何も出来ない」方が多い！とのこと。

これらが、ある程度身につけていると、成人になってからの苦労度合いが大きく左右されるようです！  
※ただし、卒業後にも成長を見込める手段はあります。福祉をどう使っていくかです

家で出来ていない事は、社会でも出来ない。家では許される事でも社会では許されない事がある事を、  
(やらせていない事) 支える側が認知し理解する！

学童期、学校卒業までに身に付けておきたい、身に付けておいて欲しい「最低限度の生活力」と、どの事業所も言います。**現実的な言葉**だと受け止めていますし、受け止めたいですね。

「就労先がA型、B型だから…」ではなく、「**本人が生きていくために必要なスキルはみんな共通**」だという事です。  
「親が先に亡くなる」ことを大前提に考えると、1人でもそれなりの事が出来るスキルを身に付けなければならないのです！ グループホームにしても、母のように何でもやってくれるという勘違いはタブーです。

※様々な成人の部の方々との話の内容を、ギュツ！と簡単にまとめたものです。

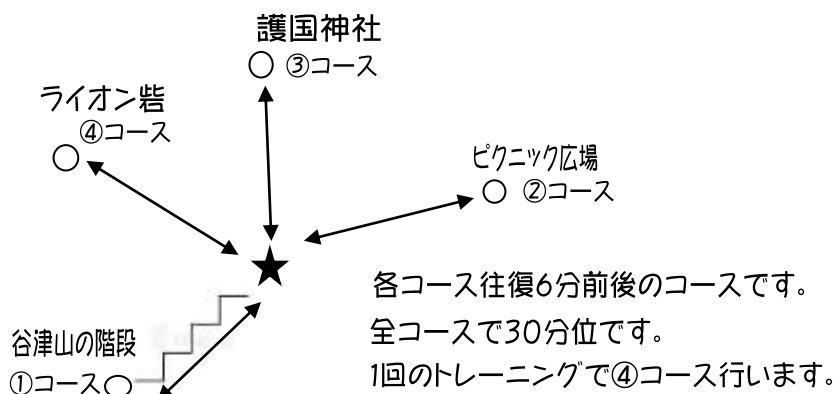
ざっくりな感想は、「スイッチで(◎印以外) やってる！」でした。スキルの定着は個人個人によりますが、「就労準備型 放課後等デイサービス」と名乗るだけの内容は行っていると感じています。

※載せきれない情報もあります。詳しくはちっかまでご相談ください。

## <谷津山④コーストレーニング>

「谷津山の階段」は様々な場面で、スイッチ用語としてキーポイントです！ 子どもたちの認知度も高いです。

山と階段のコラボコースなので、歩きだけでもかなりの心拍が上がり、いい運動になります！  
運動量は、高いです！



### <スイッチ・トレーニングの種類>

- \*持久走下校 5Km ラン
- \*広場トレーニング 各種目
- \*遊水地トレーニング 1周1Kmを3週ラン
- \*谷津山トレーニング 谷津山を走る
- \*谷津山④コーストレーニング

★印の場所を起点にし、それぞれのコースに分かれてトレーニングをします。